

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立平岡南中学校
-----	-------------

1 教育目標	こころ豊かに 自らの力で未来を切り拓く 生徒の育成
--------	---------------------------

2 基本方針
生徒が将来の夢や目標に向かって主体的に進んでいくことをめざして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を図った教育活動を推進する。また、生徒一人ひとりが自分の個性を発揮し、互いの良さを認め合い、自己肯定感・自己有用感を高められるような魅力ある学校づくりに努める。

3 指導目標
①協同的探究学習を核とした授業改善等による「わかる学力」の育成をし、ICT を有効活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する ②いのちや心、多様性や包摂を大切にする人権教育・道徳教育を充実させ、いじめを許さない集団づくりをする ③基本的生活習慣の確立と健康教育・食育を推進し、個に応じた体力・運動能力の向上と維持に努める ④誰もが安心できる環境づくりに努め、特別な支援や配慮を要する生徒のニーズに応じた指導の充実を図る ⑤学校運営協議会等による地域との協働を推進し、保護者・地域との連携・協働をすすめる

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E : わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)「確かな学力」の育成	協同的探究学習を核とした授業改善の工夫 ICTの活用を通した学びの充実	B	授業を担当するすべての教職員が協同的探究学習に取り組み、授業公開をすることで授業力の向上を図り研鑽を積んだ。
(2)「豊かな心」の育成	いじめや困ったことがあったときの適切な対応 生徒の自己肯定感を高め、主体性を尊重	A	学年担任週間を通して生徒はさまざまな教職員と関わり、広い視点を持てた。それが主体的な生徒会活動などにつながっている。
(3)「健やかな体」の育成	基本的生活習慣の確立 食育指導	B	給食の残食を減らすための取組として、川柳やポスター作成などを通じて啓発活動を行った。
(4) 地域とともにある学校づくりの推進	学校支援ボランティア活動の活性化	B	ボランティア募集を通じて、積極的に保護者や地域の方に学校活動についての理解と協力をあおいだ。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
図書ボランティアが中心となって図書室が整備され、読書の啓発が進められているのもっと利用者が増えてほしい。授業改善に積極的に取り組まれており、数値となって表れていることに感心した。	A
子どもたちの中で人間関係のトラブルを解決する力が弱くなっている。良い人間関係の築き方などを学習する取組をされているので、成果を期待している。	A
素直で明るい生徒が多く、登下校時や校内でよくあいさつをしてくれる。今後も給食を残さず食べる取組や指導を継続させてもらいたい。	A
トライやる・ウィークでの町内会活動の様子から、こういう機会を地域での活動につなげて中学生が参加しやすいような工夫をすることが必要だと感じた。地域のイベントの発信などに力を入れたい。	A